

1987

新たな建築理論に立脚した
大型建築

ヤマト インターナショナル



大田区 ●用途: 事務所・倉庫 ●竣工: 1987(昭和62)年 ●構造: 鉄骨鉄筋コンクリート造/地上9階
●DOCOMOMO Japan 選定建築物

設計 原広司+アトリエ・ファイ建築研究所



②

③

Ota-ku
Constructed in 1987

アパレル製品の企画・製作・販売を行う企業の本社ビル。商品の倉庫などに使用する物流機能と、オフィス機能を備える。敷地の選定から設計者の原広司が関わり、大田区の埋立地、平和島の広大な敷地を選んだ。周囲の交通騒音からオフィス空間を隔絶するため、地上3階部分までを基壇として物流機能を収め、4階から8階にオフィス機能を収める2層構成を取っている。至るところが相互に異なる空間を理念とし、建築を構成する要素や装飾が重なり合う複雑な空間がデザインされた。アルミパネルの外装材には刻々と変化する

る日光が映し出され、周辺環境を照らす。ガラスの摩天楼に代表される近代建築の均質空間を批判し、世界各地の集落調査を基盤に新たな建築理論を打ち立てた原の思索が結実した作品である。

Attention

- 建設技術が向上し、抽象的な美しさであれば今や誰にでも実現できるという考えのもと、複雑な形態操作が行われた。施工には膨大な労力が必要とし、バブル期だからこそ実現可能だった建築といえる ●建物の中に街があるかのようになり方は、原の初期の小規模な住宅作品から繰り返し取り入れられたデザインである

【写真①】西側の公園側から見た外観。3階の屋上部分がオフィス空間のテラスとなる 【写真②】1階の中庭スペース。水盤の上空が吹き抜けとなっている。外壁には吸音材が貼られ、騒音の抑制が図られた 【写真③④⑤】外装同様、内部にもこだわりが見られる。窓の外の風景に合わせてエッチング模様が施され、部屋ごとにデザインが異なる



④

⑤

ヤマト インターナショナル

大田区平和島5-1-1
東京モノレール流通センター駅より徒歩10分、京急線平和島駅より徒歩13分